

近代国家日本の光芒

「坂の上の雲」流れる果てに

森本 繁著 四六判ソフトカバー284頁 本体 2,300円 ISBN978-4-8295-0768-1

昭和の全時代をフルに生きた著者だから書ける同時代史

「不況と戦争」の昭和前半

……日本は何を間違えたのか

「復興と平和」の昭和後半、そして平成

……日本は国力回復とともに大事なものを失った

我々が生まれた国土の美しさ、先人たちへの敬意を後世に語り継ぐ教育、そして日本の伝統文化の美風の復活を強く訴える

————— 令和の時代に“ひとすじの光”を！

「国家は敗戦によっては滅びない。

滅びるのは、国民が国家の魂を失ったときである」(ビスマルク)

森本 繁 (もりもと しげる)
1926年愛媛県生まれ。九州大学法学部卒業。実証歴史作家。第2回歴史群像大賞受賞。著書は『白楊樹の墓標 満蒙開拓青少年義勇軍の記録』(原書房)、『台湾の開祖 国性爺鄭成功』(国書刊行会)、『放浪武者 水野勝成』(洋泉社)、『南蛮キリシタン女医明石レジーナ』、『ルイス・デ・アルメイダ』(以上、聖母の騎士社)、『村上水軍全史』『源平海の合戦』『岩柳佐々木小次郎』『白拍子静御前』『毛利元就』(以上、新人物往来社)、『小西行長』『明石掃部』『細川幽斎』『村上水軍興亡史』『宮本武蔵を歩く』『厳島の戦い』(以上、学研M文庫) など60冊以上。

序章 明治の遺産はどのように受け継がれたのか

明治戦争文学の旗手二人／戦記文学『肉弾』と『此一戦』の評価／『此一戦』の著者が見た先輩秋山真之／軍略家秋山真之の将官としての晩年／教育家としての退役将軍秋山好古／世界を明るく照らす偉大なる蠟燭／『此一戦』の著者水野広徳の思想的転機

第一章 「坂の上の雲」と国運隆昌期の軍人たち

「坂の上の雲」流れる果てに／日露戦争の勝因と果実

第二章 満州事変はなぜ起きたのか

満州事変・日本帝国主義の原点／私見「満州事変」—その歴史的背景

第三章 日本小国主義の担い手たち

—高橋是清・石橋湛山・宇垣一成

大アジア主義に抗した政府要人／日本小国主義の系譜／日本小国主義者の履歴(石橋湛山／宇垣一成／宇垣の対華和平交渉)／日本小国主義の真骨頂

第四章 大日本帝国の外交官—吉田茂と松岡洋右

最後の気骨外交官／吉田茂の対中国外交／松岡外交の光と陰(松岡洋右／国際連盟脱退の真相／日本外交の十字路口／日ソ中立条約の締結と南進策)

第五章 太平洋戦争は何を間違えたのか

日米開戦原因の検証／太平洋戦争の分岐点／帝国海軍大艦巨砲主義の誤算／ヤルタの密約／ソ連軍の満州侵攻／ソ連の千島列島占領と北海道占領計画／帝国最後の御前会議／終戦の譜

第六章 戦後日本再興の道なり

GHQの日本占領／極東国際軍事裁判／日本経済の再建と主権回復／日本の安全保障

終章 日本の伝統文化の美風は復活させなければならぬ

戦後体制の確立と憲法改正の動向／伝統教育の再生と復興の課題

8月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 7月26日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
近代国家日本の光芒		
8月新刊 本体 2,300円	部	